



北川式ガス検知管使用説明書

圧縮空气中酸素

(SP2型)

O₂

604SP2

この検知管は北川式圧縮空气中不純物測定セットP-40Rと一緒にご使用ください。
この使用説明書及び北川式圧縮空气中不純物測定セットP-40R(別売)の取扱説明書を良く読んでからご使用ください。

▲安全上の注意事項

- 1) 割れても怪我の無いよう保護手袋、保護眼鏡をご使用ください。
- 2) 検知剤には微量の化学薬品が含まれています。
手に触れた場合は水で良く洗い流してください。
- 3) 子どもの手の届く所に置かないでください。

▲使用上の注意事項

- 1) 冷暗所(0~25℃)で保存し、箱上面記載の有効期限内にご使用ください。
- 2) 北川式圧縮空气中不純物測定セットP-40Rを使用してください。
- 3) 測定後は、直ちに読み取ってください。

●用途

呼吸器用圧縮空气中の酸素濃度を、専用減圧弁を用いて通気する事により簡単に測定することができます。

●性能

表1 検知管の性能

測定物質	酸素
カタログNo.	604SP2
測定範囲	2~24%
測定時間	約1分間
検知剤の変色	白色 → 褐色

●使用環境

温度：使用温度範囲(0~40℃)10~30℃では影響ありません。
0~10, 30~40℃では、検知管の温度により影響されるので、
温度補正式により補正してください。

温度補正式 0~10℃：真の値=読み取り値 × 1.05
30~40℃：真の値=読み取り値 × 0.95

●使用条件

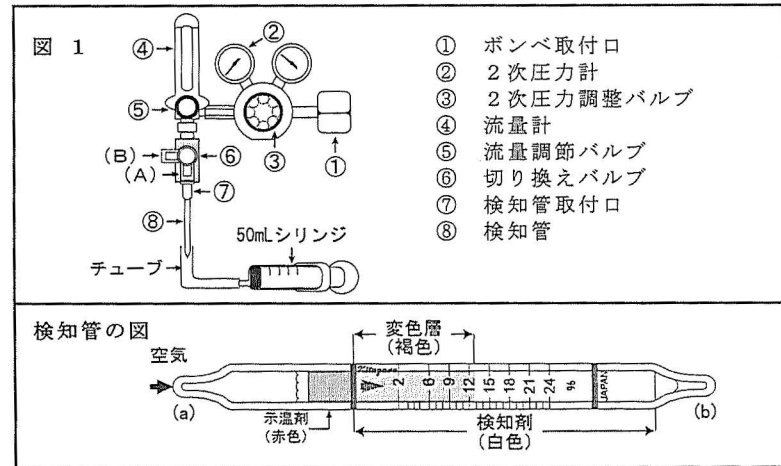
表2 検知管の測定条件

測定物質	酸素
2次圧力	0.6kg/cm ² (0.059MPa)(※注1)
流量	2L/min(※注1)
パージ時間	1分間
通気時間	約1分間(※注2)

※注1：検知管を接続する前に、この流量に設定します。
検知管を接続すると流量は低下しますが、そのまま通気します。
※注2：検知管の先に接続されているシリンジで50mL採取した所で止めてください。

●測定操作

(北川式圧縮空气中不純物測定セットP-40Rの取扱説明書を良く読んでからご使用ください)



1. 圧縮空気ポンペに専用減圧弁を接続し、ポンペのコックを開きます。
2. 切り換えバルブを(A)の位置にして、圧縮空気を流しながら2次圧力調整バルブにより2次圧力を、又流量調節バルブにより流量を調節して、表2に示す値に合わせ、表2に示す時間パージします。
3. パージ終了後、切り換えバルブは(A)の位置のままで、検知管の両端に傷を付けた後、示温剤部分(赤色)をライター等で灰色になるまで加熱します。検知管の図の(b)をカットし、チューブを接続し、0mLに合わせたシリンジを接続します。
4. 検知管の図の(a)をカットし、図1の様に専用減圧弁に取り付け、空気を通気します。この時、流量計の指示は設定時にくらべて大きく低下しますがこの状態で通気します。
5. シリンジに空気を50mL採取したら、バルブを(B)の位置に切り換えてから検知管を取り外し、変色層の先端で濃度を読み取ります。

●参考

呼吸器用圧縮空気の基準 酸素濃度 20~22vol%

●廃棄

この検知管は有害物質である水銀化合物を1本当たり3.6mg含んでおります。まとめて産業廃棄物の「水銀含有のガラス及び陶磁器くず」として廃棄してください。

※性能向上のために仕様や外観は予告なしに変更することがあります。
※製品についてご不明の点、ガス測定についての質問等がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

光明理化学工業株式会社

〒213-0006 神奈川県川崎市高津区下野毛1-8-28

TEL (044)833-8900(代) FAX (044)833-2671

URL <http://www.komyokk.co.jp/>